

第5章 音楽

第1 教科目標、評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽に親しみ、音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。

3 内容のまとめ

音楽科においては、学習指導要領の内容の「A 表現」の活動分野である歌唱、器楽、創作と「B 鑑賞」を内容のまとめ（「A 表現・歌唱」、「A 表現・器楽」、「A 表現・創作」、「B 鑑賞」）とした。なお、〔共通事項〕は、各内容のまとめに含めた。

第2 内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

I 第1学年

1 学年目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
- (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

2 第1学年の評価の観点の趣旨

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 表現・歌唱」

【学習指導要領の内容】

(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。

イ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。

ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「A 表現・歌唱」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声、言葉の特性、声部の役割や全体の響きなどに関心を持ち、それらを生かし音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取る、曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かす、声部の役割や全体の響きを感じ取るなどして音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。

【「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容（歌詞の言葉の意味、歌詞が表す情景や心情、歌詞の成立の背景など）や曲想（その音楽固有の表情や味わいなど）に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 曲種に応じた発声（我が国の伝統的な歌唱を含む我が国や諸外国の様々な音楽の特徴を表現することができるような発声など）、言葉の特性（言葉の抑揚、アクセント、リズム、子音・母音の扱い、言語のもつ音質、語感など）に関心を持ち、それらを生かして 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能（発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など）を身に付けて歌っている。 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて歌っている。

<p>歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・声部の役割（音楽の構造におけるそれぞれの声部が果たしている役目など）や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>・声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて歌っている。</p>
<p>上記の「音楽を形づくっている要素」については、指導のねらい、教材、学習活動等に即して、以下のように具体的に設定することも考えられる。</p> <p>【音色】 声や楽器の音色、自然音や環境音、曲種に応じた発声及び楽器の奏法による様々な音色、それらの組合せや変化などが生み出す響きなど</p> <p>【リズム】 拍や拍子、リズム・パターンとその反復や変化、拍節的なリズムや拍節的でないリズム、我が国の伝統音楽に見られる様々なリズム、間など</p> <p>【速度】 曲にふさわしい速度、速度の様々な変化、緩急の対比、我が国の伝統音楽に見られる序破急など</p> <p>【旋律】 音のつながり方、旋律線のもつ方向性、フレーズ、旋律装飾、旋律が基づくところの音階、調など</p> <p>【テクスチャ】 音や旋律の組合せ方、和音や和声、多声的な音楽、我が国の伝統音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合いなど</p> <p>【強弱】 曲にふさわしい強弱、強弱の様々な変化、強弱の対比、音楽の全体や部分における強弱の変化など</p> <p>【形式】 二部形式、三部形式、ソナタ形式、我が国や諸外国の音楽に見られる様々な楽曲形式など</p> <p>【構成】 反復、変化、対照などの音楽を構成する原理など</p>		

(2) 「A 表現・器楽」

【学習指導要領の内容】

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。

イ 楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。

ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、音楽表現を工夫すること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「A 表現・器楽」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
曲想、楽器の特徴、基礎的な奏法、声部の役割や全体の響きなど	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付

<p>どに関心をもち、それらを生かし音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>特質や雰囲気を感じながら、曲想を感じ取る、楽器の特徴をとらえる、声部の役割や全体の響きを感じ取るなどして音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>けて演奏している。</p>
---	--	------------------

【「A 表現・器楽」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想（その音楽固有の表情や味わいなど）に関心をもち、音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・楽器の特徴（楽器の構造や奏法、その楽器固有の音色や響き、よさなど）に関心をもち、基礎的な奏法（楽器の初歩的な演奏方法など）で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声部の役割（音楽の構造におけるそれぞれの声部が果たしている役目など）や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、楽器の特徴をとらえた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能（奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方、読譜の仕方など）を身に付けて演奏している。 ・楽器の特徴をとらえた音楽表現をするために必要な、基礎的な奏法などの技能（同上）を身に付けて演奏している。 ・声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて演奏している。
<p>上記の「音楽を形づくっている要素」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例に同じ。</p>		

(3) 「A 表現・創作」

【学習指導要領の内容】

(3) 創作の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。

イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「A 表現・創作」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
言葉や音階などの特徴、音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成などに関心をもち、それらを生かし音楽表現を工夫して音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、言葉や音階などの特徴、音素材の特徴を感じ取る、反復、変化、対照などの構成を生かすなどして音楽表現を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。

【「A 表現・創作」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> 言葉や音階などの特徴（言葉の抑揚、アクセント、リズム、音階の構成音によって生み出される独特な雰囲気など）に関心をもち、音楽表現を工夫して簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 音素材（声や楽器の音、自然界や日常生活の中で聴くことのできる様々な音など）の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、言葉や音階などの特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽で表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取って反復、変化、対照などの構成を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や音階などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能（課題に沿った音の組合せ方、記譜の仕方など）を身に付けて簡単な旋律をつくっている。 音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて音楽をつくっている。
<p>上記の「音楽を形づくっている要素」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例に同じ。</p>		

(4) 「B 鑑賞」

【学習指導要領の内容】

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。

ウ 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「B 鑑賞」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<p>音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴、音楽の多様性などに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取る、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付ける、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取るなどして、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>

【「B 鑑賞」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や構造（音楽を形づくっている要素そのものや要素同士のかかわり方及び音楽全体がどのように成り立っているかなど、音や要素の表れ方や関係性、音楽の構成や展開の有り様など）と曲想（その音楽固有の表情や味わいなど）とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。
<p>-----</p> <p>上記の「音楽を形づくっている要素」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例に同じ。</p>	

II 第2学年及び第3学年

1 学年目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

2 第2学年及び第3学年の評価の観点の趣旨

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を高め、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、ふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を伸ばし、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽に対する理解を深め、味わって聴いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 表現・歌唱」

【学習指導要領の内容】

(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。

イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。

ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「A 表現・歌唱」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の特性、声部の役割と全体の響きとのかかわりなどに関心をもち、それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わう、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解する、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。

【「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
・歌詞の内容（歌詞の言葉の意味、歌詞が表す情景や心情、歌詞の成立の背景など）や曲	・音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、	・歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能（発声、

<p>想（その音楽固有の表情や味わいなど）に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲種に応じた発声（我が国の伝統的な歌唱を含む我が国や諸外国の様々な音楽の特徴を表現することができるような発声など）や言葉の特性（言葉の抑揚、アクセント、リズム、子音・母音の扱い、言語のもつ音質、語感など）に関心をもち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声部の役割（音楽の構造におけるそれぞれの声部が果たしている役目など）と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<p>構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 	<p>言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方などを身に付けて歌っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて歌っている。 ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて歌っている。
--	---	---

上記の「音楽を形づくっている要素」については、指導のねらい、教材、学習活動等に即して、以下のように具体的に設定することも考えられる。

【音色】

声や楽器の音色、自然音や環境音、曲種に応じた発声及び楽器の奏法による様々な音色、それらの組合せや変化などが生み出す響きなど

【リズム】

拍や拍子、リズム・パターンとその反復や変化、拍節的なリズムや拍節的でないリズム、我が国の伝統音楽に見られる様々なリズム、間など

【速度】

曲にふさわしい速度、速度の様々な変化、緩急の対比、我が国の伝統音楽に見られる序破急など

【旋律】

音のつながり方、旋律線のもつ方向性、フレーズ、旋律装飾、旋律が基づくところの音階、調など

【テクスチャ】

音や旋律の組合せ方、和音や和声、多声的な音楽、我が国の伝統音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合いなど

【強弱】

曲にふさわしい強弱、強弱の様々な変化、強弱の対比、音楽の全体や部分における強弱の変化など

【形式】

二部形式、三部形式、ソナタ形式、我が国や諸外国の音楽に見られる様々な楽曲形式など

【構成】

反復、変化、対照などの音楽を構成する原理など

(2) 「A 表現・器楽」

【学習指導要領の内容】

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。

イ 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。

ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「A 表現・器楽」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
曲想、楽器の特徴、基礎的な奏法、声部の役割と全体の響きとのかかわりなどに関心を持ち、それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わう、楽器の特徴を理解する、基礎的な奏法を生かす、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。

【「A 表現・器楽」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想（その音楽固有の表情や味わいなど）に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・楽器の特徴（楽器の構造や奏法、その楽器固有の音色や響き、よさなど）、基礎的な奏法（楽器の初歩的な演奏方法など）に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声部の役割（音楽の構造におけるそれぞれの声部が果たしている役目など）と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能（奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方、読譜の仕方など）を身に付けて演奏している。 ・楽器の特徴、基礎的な奏法を生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて演奏している。 ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）を身に付けて演奏してい

音楽表現を工夫しながら合わせて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて演奏するかについて思いや意図をもっている。	る。
上記の「音楽を形づくっている要素」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例に同じ。		

(3) 「A 表現・創作」

【学習指導要領の内容】

(3) 創作の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。

イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「A 表現・創作」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
言葉や音階などの特徴、音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりなどに関心をもち、それらを生かし音楽表現を工夫して音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、言葉や音階などの特徴、音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを生かすなどして音楽表現を工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。

【「A 表現・創作」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> 言葉や音階などの特徴（言葉の抑揚、アクセント、リズム、音階の構成音によって生み出される独特な雰囲気など）に関心をもち、それらを生かし音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 音素材（声や楽器の音、自然界や日常生活の中で聴くことのできる様々な音など）の特徴、反復、変化、対照などの 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、言葉や音階などの特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽で表現 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や音階などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能（課題に沿った音の組合せ方、記譜の仕方など）を身に付けて旋律をつくっている。 音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な技能（同上）

構成や全体のまとまりに関心をもち、それらを生かし音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	したいイメージをもち、音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	を身に付けて音楽をつくっている。
上記の「音楽を形づくっている要素」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例に同じ。		

(4) 「B 鑑賞」

【学習指導要領の内容】

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。

ウ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

【「B 鑑賞」の評価規準に盛り込むべき事項】

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴、音楽の多様性などに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解する、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解するなどして、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

【「B 鑑賞」の評価規準の設定例】

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や構造（音楽を形づくっている要素そのものや要素同士のかかわり方及び音楽全体がどのように成り立っているかなど、音や要素の表れ方や関係性、音楽の構成や展開の有り様など）と曲想（その音楽固有の表情や味わいなど）とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音楽を形づくっている要素（同上）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ

体的に取り組もうとしている。

- ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

しながら、音楽の特徴をその背景となる文化

- ・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。
- ・音楽を形づくっている要素(同上)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。

上記の「音楽を形づくっている要素」については、「A 表現・歌唱」の評価規準の設定例に同じ。